

平成27年 2月3日(火) 発行



高大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



Winter Festival



第75号
2015・2

(写真提供) 森本純生校長

挨拶



父母の会会長
吉原 秀 忠

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平成二十六年年度の行事も会員の皆様の格別のご理解・ご協力を賜り、無事進めることが出来ました。心より感謝申し上げます。

昨年の生徒の皆さんは、各分野において素晴らしい活躍が見受けられ、勉強や部活動などを日頃より熱心に取組んだ成果と思われまします。また十月の文化祭では私も父母会役員も参加させていただき、生徒達の活き活きと楽しんでる姿を間近で見ることができ、嬉しく思うと同時に共に楽しませていただいた事を感謝しています。

さて三年生の皆さんは高校生活が残りわずかとなりました。卒業

までの日々を先生方や仲間と共に謳歌し、商大附高での素敵な思い出を胸に抱き、輝かしい未来に向けて羽ばたいていってください。そして自分自身を信じて何事にもチャレンジし失敗を恐れず皆さんの若いエネルギーを惜しみなく発揮し不可能を可能に変えていってください。

また一・二年生の皆さんも、さらに勉強、部活動に積極的に励み悔いのない楽しい高校生活を送ってください。そして人生において宝となる信頼できる友達を作ってもらいたいと思います。

結びに今年度も残り少なくなりましたが、父母の会会員の皆様ならびに校長先生はじめ教職員の皆様方に最後まで会の運営にご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方のご多幸と商大附高の発展を心よりお祈り申し上げます。



挨拶



理事長・校長
森 本 純 生

平成二十七年の新しい年を迎えました。今年の干支は未年（羊の年）であります。羊は群れをなして行動する為、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされているとのこと、まさに大きな群れ（友人・師弟・保護者の集団）であります。学校にとつての良い年になって欲しいと願っております。

昨年は行事の中で各種の行事が行われました。二年に一度の学園祭もありましたが、全て順調に終了することが出来ました。ご協力とお力添えを賜りましたこと、父母の会会員・役員の皆様にご挨拶申し上げます。

長い間続いた建築工事もやっと完成に近づき、二学期より新本館及び第七校舎が使用可能になりました。工事期間中の不便や騒音に我慢をしてもらった生徒諸君には

感謝をしております。三学期は、未完成であった創立者佐藤夕子先生の銅像の移設や植栽等の外構工事や購買部（校内コンビニとして開店）・守衛室も完成し、スタジオや映像配信システムも起動し、全てが整ってスタートすることが出来ました。三年生には卒業前に少しでも早く使ってもらえるよう努力して急いでも構いません。残り少ない期間ですが全ての施設設備を積極的に使って頂きたいと思っています。

建物（特にコンクリートの建物）はそのものに血が通っている訳ではありません。どんなに良くできた校舎であっても、冷たい鉄筋とコンクリートの塊であります。今は温かい心で通じ合った生徒・教職員そして保護者の皆様がこの建物の機能をフルに活用して頂き、建物に暖かな命を注入して欲しいです。やっとな静かになりました、落ち着いた充実した三学期になりますように願っております。

今後の校舎耐震工事の計画であります。来年度の夏休みを中心とした工期で第二校舎・第四校舎の耐震補強工事と冷暖房設備の更新、照明を含めた内装工事を計画しております。

本部役員挨拶

「今年をふり返って」

副会長 高見澤佳子

新年あけましておめでとうござ
います。会員の皆様には、総会、
懇談会などにご協力を頂き感謝申
し上げます。

今年度も役員として様々な行事
に参加させて頂きました。夏には
関東地区高P連の群馬大会、続い
て、本校が会場の学校見学会など
がありました。特に十月に行なわ
れた商大附高祭では、父母の会で
カフェをさせて頂きました。新校
舎での学園祭に沢山のお客様が来
られ、先生や役員の方々と忙しい
ながらも楽しい二日間を過ごさせ
て頂きました。

今年度も残りわずか、息子の入
学と共にお受けした役員も卒業間
近になりました。役員をしなけれ
ば、出会えなかった方々と子ども
達の姿を見ることが出来て、本当
に良かったと思える一年でした。
三年生は、自分の目標に向かっ

て進学に就職に、残りの学校生活
を送っていくことと思います。卒
業しても商大附での日々を糧に常
に成長しつづける努力の出来る人
になってほしいと思います。

最後になりましたが、子ども達
の希望に満ちた未来と商大附高の
益々の発展、皆様のご健勝とご活
躍を心よりお祈り申し上げます。

副会長 中村純也

新年明けましておめでとうござ
います。会員の皆様におかれまし
ては、お健やかに初春をお迎えの
こととお慶び申し上げます。

今年度の諸行事も会員の皆様に
お力添えを頂き無事に終了する事
ができました事、厚く御礼申し上
げます。今年一年をふり返ると商
大附高祭は特に楽しく記憶に残る
行事でした。また本校が見学校だつ
た私立高等学校見学会では本校の
素晴らしさが御来校の頂いた方々
にしっかりと伝わった事を実感し
ました。中でも最後に行われた空
手道演舞、吹奏楽演奏、ペップア
ーツは特に素晴らしく感動しました。
役員もあと一年ですが、楽しんで
活動したいと思えます。

結びに、商大附高の益々の発展
と会員の皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます。

副会長 松澤龍治

新年あけましておめでとうござ
います。会員の皆様におかれまし
ては、ご家族と共に新しい年をお
迎えることとお慶び申し上げます。

何も分からないまま引き受けた
本部役員ですが、会員の皆様のご
協力を頂きながら、早いもので二
十六年度も残りわずかとなってき
ました。役員の行事や活動にでき
る限り参加させて頂き、何もかも
が始めての事で、とても貴重な経
験をさせて頂きました。これから
も生徒達が充実した高校生活を送
れるよう微力ながら協力させて頂
きたいと思っております。

校長先生、諸先生方には大変お
世話になりました。ありがとうございます
ございました。

最後になりましたが、皆様のご
多幸とご活躍、そして商大附高の
益々の発展を心よりお祈り申し上
げ、ご挨拶とさせて頂きます。

書記 飯塚公明

新春を迎え、謹んで新年のお慶
びを申し上げます。

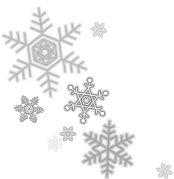
会員の皆様のご協力の下、父母
の会総会、学年学級懇談会から始
まった平成二十六年年度の行事もほ
ぼ終わりに近づき、参加させてい
ただいた行事では、皆様方には大
変お世話になりました。

子どもの高校入学と同時に始まっ
た私の父母の会本部役員の三年間
も、卒業間近になりました。

特に部活動をやり通した子ども
の姿を見るたび、バックアップを
いただいた学校と、校長先生をは
じめ、ご指導を頂いた先生方には、
感謝の気持ちでいっぱいです。

私自身も、役員の活動、部活動
の後援会活動で、多くの勉強と楽
しい時をいただきました。

最後になりましたが、今年度卒
業生達の希望に満ちた未来と、商
大附高の益々の発展をお祈り申し
上げます。



書記 佐藤英司

新年明けましておめでとうござい
ます。皆さまにおかれましては
穏やかに新年を迎えられたことと
存じます。

平成二十六年度も残りわずかか
なりましたが、各行事において会
員の皆さまのご協力をいただき、
大変お世話になりました。中でも
商大附高祭では、子ども達と共に
準備、運営を行い貴重な経験がで
きたことに喜びを感じております。
役員行事では、県高P連総会や
私学の学校紹介等、他校の役員の
皆さまとの交流により実り多い一
年となりました。

残り少ない高校生活、充実した
ものになる様、協力してまいりま
す。

結びに、商大附高の益々の発展
と皆さまのご健康、ご多幸をご祈
念申し上げご挨拶とさせていただきます。
ます。

会計 宮下 佐登志

新年明けましておめでとうござ
います。

子ども入学と同時に引受け

した役員も早いもので、三年が過
ぎようとしています。総会・学年
学級懇談会を始め、商大附高祭・
各行事等に参加させて頂きました。
校長先生、父母の会会長・会員の
皆様は商大附高生徒の事を第一に
思い率先して協力して下さる姿に
感動と感謝の気持ちでいっぱい
です。

昨今の話題と言えば、景気低迷
と世界の経済は、なかなか未端ま
で回復には至ってないようです。

そんな厳しい世の中ですが、商大
附高の生徒の皆さんの学業はもと
より、スポーツ・芸術面にと輝か
しい活躍は、感動と元気を与えて
くれ、明るい希望を持たせてくれ
ました。目まぐるしく変化する時
代に柔軟に対応できる知識と経験
を身につけ、たくましい大人への
土台づくりとして、自分自身の可
能性を信じて、はばたいてもらい
たいと思います。

三年年の子どもを持つ親として
も進路の事に親身になり、相談に
のって下さる先生方には大変感謝
の気持ちでいっぱいです。

商大附で高校生活を過ごせまし
た事は、きっと一生の思い出にな
る事と思います。

校長先生、諸先生方には、大変
お世話になりました。ありがとうございます。
ございました。

結びに皆様のご多幸とご活躍、
商大附高の益々の発展を祈念申し
上げます。

会計 山木 恵子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。
ます。

会員の皆様には父母の会総会、
懇談会などご協力をいただき、感
謝申し上げます。

本年度の活躍として思い出深い
事は、やはり二日間の文化祭に参

三年生保護者より

旅立つ我が子へのメッセージ



井坂 弘子

入学してから月日の経つのは早
いもので、高校生活も残りわずか
となりましたね。

思えば公立の合格発表の日くや
し涙を流し、入学してから早三年
あつという間でしたね。

入学してすぐに学校生活にも慣

加させていただいたことです。父
母の会として「カフェ」をお手伝
いさせていただき、生徒の皆さん
や多くの保護者の方たちとふれあ
うことができました。商大附の生
徒の皆さんは、本当に明るく礼儀
正しく、学校生活が充実している
事を肌で感じる事が出来ました。
また校長先生、諸先生方も生徒
さん達と親しみをもって接してお
られて、改めて商大附の良さを実
感しました。

これからも、本校の益々の発展
と会員の皆様のご健康とご多幸を
心よりお祈り申し上げます。

れて、クラスでも仲良しの友人が
たくさんできて、充実した学校生
活を送れましたね。一、二年は勉
強にはあまり身が入らなかつたよ
うですが、三年になって目標をきつ
ちり決めてからのあなたのがんば
りはとても成長したなと感心して
います。

卒業まであとわずかですが、自

分の夢に向って精一杯がんばって下さい。最後に内田先生をはじめ三年間お世話になりました諸先生方の温かいご指導に心より感謝申し上げます。卒業おめでとう！

青木光代

もうすぐ新しい道への歩みが、始まろうとしています。

一日一日が早く、私を感じているよりもあなたの中では、充実した毎日だった事でしょう。勉強と部活動の両立で忙しかった日々が、私の目には活き活きして見えませんでした。部活から帰って来たあなたは、普段は無口なあなたとは別人の様に、私に色々な話をしてくれて、とても楽しい時間でした。

多趣味なあなたは、物知りで、知識では私を遥かに越えてしまいました。でも、私はあなたが生まれるまで、親という道を知りませんでした。十八年という人生の中では、まだまだ経験した事の無い皆さんの出来事があると思います。周りに目や耳を向けて歩んで行って下さい。これからあなたが成長していく中で、必要な事ばかりです。

最後に、三年間お世話になった先生方に、感謝しお礼を申し上げます。ありがとうございます。

中島由美

入学式で校長先生がおっしゃった言葉を覚えていきますか。

「この学校に第一志望で来ている生徒もいるかと思いますが、でもこの学校で大丈夫です。」私はこの言葉に本当に救われました。重い不安感を拭い去っていただきました。

入学してからの我が子は、時に無気力であったり、目標を持ってずいたり、周りに流され気味だった時期もありました。それでも毎日私の用意したお弁当を持って登校する我が子を「がんばれ！」という思いで見えていました。そんな息子のスイッチが入ったのが二年生の後半。大学進学が彼の目標となっていました。スイッチを入れたのは、担任の先生や関わって下さった、たくさんの先生方や仲間達だと思います。娘のスイッチが入ったのは三年の夏。遅いのですが心配していましたが、猛ダッシュで間に合いました。

これまでに、たくさんの大人の人の手助けがあった事をどうか忘れないで下さい。当然と思わずに感謝できる素敵な大人になって下さいね。応援しています。最後に、校長先生、あの日あなたかのお言葉本当にありがとうございます。

大塚百代

入学後、一息つく暇もなく慌ただしい高校生活が始まりました。憧れていたアーチェリー部での練習。希望大学の入試には実技試験

が伴う為、実技練習の塾通い。学校の勉強。すべて同時進行する事はとても大変でした。もっと自由な時間が欲しかったと思います。投げ出す事無く見事にやり遂げましたね。自分の目標に向かって全力で進んで行く姿に強い精神力と意志の強さが見られました。君の選んだ道は簡単に結果の出る世界ではないですが、君が努力を続ける限り応援し続けますよ！高校で出会えた友人をいつまでも大切に。お世話になった先生方に感謝を忘れずに。これから始まる新しい世界、沢山の刺激を吸収

し、広い視野を持つて思いきり楽しんで下さい。卒業おめでとう！

富所広美

今、高校卒業までの十八年間で振り返ると貴君の成長と月日の経る速さを改めて感じています。

貴君に送るメッセージは、三つあります。

一つ目は、^{きんか}「金花一朝の夢であります。これは、心に「何のために」という目的を持って、思うがままに生きるということです。

二つ目は、貴君にしかできない生き方であります。これは、貴君が、いかに社会に役立つ生き方をするかということです。

三つ目は、ありがとうございます。貴君が生命を頂いたのは、父母だけではなく、何代にも繋がる生命のバトンであるということです。感謝の気持ちを大事にして下さい。

最後に、一年の時は、清水先生、二年の時は、石橋先生、三年の時は、後藤先生、剣道部では、小幡先生に、ご指導を頂き有難うございました。心より感謝致します。

星野友紀子

笑ったり、泣いたり、時にはけんかしたり、共有出来た時間は大切な宝です。その宝はバレーボールを通じて沢山の方々を知り合う事が出来ました。知り合うという事、人生においてもすごい財産です。この三年間で財産を与えて頂いたこと、一生忘れずにそして感謝して下さい。知り合った方々ともこれからも大切にして、さらなる飛躍を陰ながら応援しております。

最後になりましたが、お世話になりました諸先生方、上和田先生、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

石川悦子

期待に胸をふくらませた入学式から早三年。苦楽を共にした仲間もそれぞれ自分の夢へ向かって新しい道を歩んで行きます。これから先の人生を乗り越えて行く上で一番大事なことを伝えます。

どんな困難にも「負けない」気持ちが大切です。

何かに取り組んだら最後まで

「投げ出さないこと」が自分を成長させます。

逃げ出すことは簡単ですが「逃げ出さないこと」を貫ける勇気を持つ人は強い人です。

いつまでも仲間や友達を「信じ抜くこと」で人生はもっと充実していきます。

楽しい事もあれば苦しい事もありません。「駄目になりそうな時」こそこの言葉を思い出して下さい。きつと力になってくれるはずですよ。

いざ「挑戦 ■ 新たな一歩 ■」へ最後に三年間お世話になりました諸先生方、心身共に鍛え上げてくださった上和田先生、曾我部先生心から感謝申し上げます。

阿久津道子

商大附属高等学校。我が子が附属の佐藤幼稚園に通っている頃からの憧れの高校でした。小学三年から始めたバレーボールを商大附高に入ってやるのが娘の夢でした。実際は強くて上手い子達が沢山いる中で裏方に徹し、応援団長としてあらん限りの声で応援している姿を見て、この三年間で人間として成長したなと感じ、我が子をこ

までご指導下さった上和田先生をはじめ諸先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも末永く見守っていただけたらと思っております。高校での色んな思い出は手のひらからこぼれる程。それを糧にこれからも頑張つて欲しいと思っております。高校の三年間を通して見つけたあなたの進路。夢が現実になるように前を向いて胸を張って、今を精一杯生きて下さい。

新井貴子

「寂しくない?」「不安じゃない?」「何度聞いても「ううん!全然!ワクワクする!」「大丈夫!やる気100%!」という心強い言葉が返ってきます。春には近いけれども遠い国へ夢を叶えるべく旅立つ娘の言葉です。常に前向きな姿は頼もしくもありましたが、辛い時はどこで涙を流していたのだろうと今も胸の詰まる思いです。想像以上に多くの事を学び経験しました。夢見たJKらしい生活とは無縁でしたが、娘と共に過ごした時間、共に過ごした幸せを今噛みしめています。多くの友人、仲

間に恵まれ、私も便乗させてもらい、豊かで温かい三年間でした。進む先には幾多の困難や苦悩が待ち受けているだろうけれども、娘の笑顔の中に強い決意を感じ、信じる事が出来ています。得意な粘り強さで夢に向かって元気良く突き進んで下さい。その笑顔が永遠に続くことを祈っています。

最後に。先生方のご指導のもと充実した楽しい高校生活を送る事が出来ました。心より感謝申し上げます。

졸업 축하해!
그리고 고마워!!

小島美智子

お気に入りの制服に身を包み早三年。良い仲間にも恵まれ充実した高校生活を送れたのではと思っております。のんびりと自由に過ごしているように見えて、この三年間で大分成長しました。特にアメリカへのホームステイは貴重な体験になった事と思います。独自の信念を持ち、的確な判断の出来る娘に育ってくれた事誇りに思います。これまで成長出来たのも、先生方のお陰だと感謝しております。

これから今より広い世界へと踏み出すのだから、大変な事はたくさんあると思いますが、この高校生活で得た物は、あなたにとつて良き財産となつて役立つはずです。あなたなら頑張れると信じています。長い人生、たまには道草などして、新たな発見と素敵な出会いを見つけて幸せの和を広げていって下さい。

卒業おめでとう。

小代 智美

期待と不安で入学してから、早くも卒業の時期となりました。

当時は思い通りの高校生活が出来ず心配していましたが、色々な思いを経験して行く中、自己の考え方が変わり、今では楽しく毎日が過ごせているようです。

これから夢に向かって歩む中でも色々な思いを経験する事でしょう。先日「無駄になる経験はないんだね」と自ら話していましたね。どんな時でも楽しめるポジティブな心を持って歩んで行けば、どんな事があっても乗り越えられると思います。

これからは体が資本の毎日なの

で、健康管理をしっかりとして頑張ってください。いちファンとして応援していますよ。

最後に、三年間ご指導下さった田村先生、教職員の皆様、親子共々大変お世話になりました。

富所 洋一

高校生活も、残りわずかとなりました。三年間という日々が長いようでもありました。

ありましたが、とても短く感じられました。

進路指導部より

【進学状況】

今年度、現時点での入試結果は、国公立大学の推薦入試での合格者が9名。内訳は、群大5名、県立女子大2名、高経大1名、新潟大1名となっています。昨年度と比べると約半分の人数となっていますが、これは三年生の在籍数の影響もあると思われます。一方私立大学ですが、現時点の合格者数は130名となっています。いずれにしてもこれから一般入試が始まりま

れました。

今後、更なる分岐点を迎え、新たなスタートラインに立ちますが色々な試練や困難にも立ち向かい乗り越えていってほしいと願っております。

強い信念を持ち、感謝する気持ちを忘れずに、常に前向きで歩んで下さい。

最後に、三年間お世話になりました諸先生方の温かいご指導に感謝し、お礼申し上げます。

すので、三年生には、残った時間を無駄なく使い、悔いの残らないようにしてもらいたいと思います。

近年の我が国は、社会・経済・産業・職業構造の高度化・複雑化が進んできており、それに対応するための、より専門的知識・技能の習得が求められるようになってきました。こうした趨勢は、学校教育の中の進路指導にも当然のごとく影響を与えており、進路指導の充実やそれに携わる教員の指導力・相談力の向上も期待されると

ころとなっています。このような状況の中、子どもたちの生活・学習や職業行動の変質、進路・雇用環境の激変などを受けて、学校教育そのものを見直す動きもあります。中央教育審議会答申にみられる、生きる力、職業観、勤労観の育成、社会的・職業的自立への支援、初等教育から高等教育を一貫する体系的な新しいキャリア教育の必要性がそれです。そして、近頃の大学の様子はいかがなものかと覗いてみると、大学生全体を百人の村だとして、12人は中退、13人は留年、30人は就職せず（出来ず）、就職しても14人は早期離職、残りの31人がかろうじて普通の人？という数字があります。そして、このような数字を見せられると、日本の将来に不安を感じないではいられません。大学においても、このような状況を不安に思い、入学前教育を実施するところが多くなってきているように思います。

このような状況の中で我々高校教員は何をしなければならぬのか。もう一度、本当の意味での生きる力について考えなければならぬのではないのでしょうか。

▼主な合格大学

新潟大学(1) 群馬大学(5)
 群馬県立女子大学(2) 高崎経
 済大学(1) 東洋大学(2) 専
 修大学(2) 獨協大学(1) 女
 子栄養大学(1) 京都産業大学
 (1) 神田外語大学(1) 文教
 大学(1) 玉川大学(2) 東海
 大学(1) 日本薬科大学(1)
 大東文化大学(2) 國學院大
 学(1) 立正大学(1) 学習院女
 子大学(1) 帝京大学(3) 大
 妻女子大学(1) 東京家政大
 学(1) 国士舘大学(2) 日本体
 育大学(2) 神奈川大学(1)
 駒沢女子大学(1) 東京国際大
 学(3) 城西大学(2) 日本医
 療科学大学(2) 埼玉医科大学
 (1) 城西国際大学(1) 東洋
 学園大学(1) 跡見学園女子大
 学(1) 東京電機大学(1) 東
 京情報大学(1) 関東学院大
 学(1) 尚美学園大学(3) 駿河
 台大学(4) 山梨学院大学(1)
 目白大学(1) 北陸大学(1)
 朝日大学(3) 文化学園大学
 (2) 文化女子大学(1) 金沢
 工業大学(1) 杉野服飾大学
 (1) 西武文理大学(1) 平成
 国際大学(1) デジタルハリウツ

平成 26 年度 父母の会学年懇談会 進学関係資料

- (1) 平成 25 年度 大学 258 名 (国公立 25 名) 合格
 平成 24 年度 大学 234 名 (国公立 24 名) 合格
 平成 23 年度 大学 265 名 (国公立 22 名) 合格
 平成 22 年度 大学 267 名 (国公立 12 名) 合格
 平成 21 年度 大学 197 名 (国公立 10 名) 合格

- (3) 入学試験 各大学短大専門学校の合否資料
 については進路資料を参照のこと。

(2) 在校生の進学希望調査 (平成 26 年 4 月調査)

- A. 推薦入試 出願条件を満たした生徒が高校
 からの推薦を得て出願する。

指定校推薦 (大学 109 校 短大 39 校 進路資料
 7 月上旬配布の指定校一覧冊子)

大学等が指定した高校に基準や指定枠等
 を提示して募集する推薦。出願できれば
 合格の可能性は極めて高い。

公募制推薦 条件を満たしていれば、どの
 高校の生徒も出願できる入試
 一部人数制限のある大学あり

※出席状況には十分留意し全科目について評
 定平均値を高める努力が必要

- B. 一般入試 各大学・学部により入試科目を
 設定して、合否を判定する。入試得点が
 重視されるので、入試科目で高得点を取
 れる実力が必要。

〈大学入試センター試験〉

国公立大学受験者は必修であるが、9 割以
 上の私大がセンター試験利用入試を実施。
 4 年制大学受験者はほぼ全員が受験してほ
 しい。

国公立の試験科目は、6 教科 7 科目に増加
 科目構成例

文系 (英 1、国 1、社 2、数 2、理 1) 等
 理系 (英 1、国 1、社 1、数 2、理 2) 等
 “入試科目を意識した学習を”

- C. AO 入試 大学 (短大) で何を学びたいかを
 大学側と相談し、受験生と大学側の条件
 が一致した場合、出願し選考される。エ
 ントリーの早い学校も多い。

		1 学 年 在籍 475			2 学 年 在籍 507			3 学 年 在籍 386		
		大 学	短 大	専 門	大 学	短 大	専 門	大 学	短 大	専 門
文 系	文・外国語	26	4	0	33	1	5	23	1	4
	商・経	15	3	4	23	11	5	28	4	1
	法・社会	9	0	0	9	0	0	11	0	0
	体・教育	21	1	5	20	0	1	7	1	0
	福祉	2	2	1	2	0	3	1	1	2
	芸術	5	0	7	5	0	9	6	1	5
	家政	0	0	0	4	0	1	7	2	3
	保育	7	10	8	5	10	5	6	10	4
	心理	3	0	0	6	0	0	10	2	0
	理容・美容	0	2	29	2	0	13	0	3	16
	医療事務	3	3	4	6	2	0	3	5	5
	その他	2	2	15	5	2	17	5	5	13
未定	34	5	7	30	8	4	16	3	3	
理 系	理学	16	0	1	13	0	0	16	0	0
	工学	14	0	3	22	0	1	22	0	5
	農学	1	0	2	3	0	0	1	0	0
	医・歯・薬	11	0	2	19	0	0	9	0	0
	医療	4	0	1	11	1	0	4	0	5
	看護	6	0	3	22	0	9	13	1	4
	動物	5	1	12	1	0	12	1	0	7
	その他	3	0	5	2	0	2	4	0	7
	未定	27	5	5	18	1	1	1	0	1
未 定	40	1	7	35	6	13	8	3	8	
合 計	254	39	121	296	42	101	202	42	93	

1年 進学 414 就職 61 2年 進学 439 就職 68 3年 進学 337 就職 49

【就職状況】

ド大学(1) 埼玉工業大学(3) 日本文化大学(1) 松本大学(1) 松蔭大学(1) 東京福祉大学(1) 群馬パース大学(2) 高崎健康福祉大学(4) 上武大学(2) 共愛学園前橋国際大学(7) 群馬医療福祉大学(5) 高崎商科大学(39)

厚生労働省は現段階で、求人倍率が、前年を0・35ポイント上回り1・28倍となり、改善は4年連続だとしている。人手不足感を背景に、リーマン・ショックで雇用情勢が悪化する前の二〇〇九年三月以来、六年ぶりに1倍をこえたのだという。

▼主な合格短期大学

高崎商科大学短期大学部(27) 育英短期大学(9) 新島学園短期大学(2) 群馬医療福祉大学短期大学部(2) 関東短期大学(1) 大妻女子大学短期大学部(1) 武蔵丘短期大学(1) 文化学園大学短期大学部(1)

▼主な合格専門学校

蕨戸田医師会看護専門学校(1) 埼玉歯科技工士専門学校(1) 群馬県高等歯科衛生士学院(2) 高崎歯科衛生専門学校(3) 前橋医療福祉専門学校(2) 太田医療技術専門学校(1) 他 (進学指導主事 菊池弘幸)

しかし、現場では、残念ながらその実感が無い。結果的には昨年並みの数字になってほっとしているが、今年もいろいろなおことがあった。中でも、自動車関連の企業は好調だった。生徒もよく頑張ってくれたと思う。もともと、そのためにも、早い時期からの準備が必要になる。自分に合った職種をさがし、さらに具体的な会社を選び出すことは、決して簡単なことではない。しかも、決められた時間内に決断しなければならぬのである。

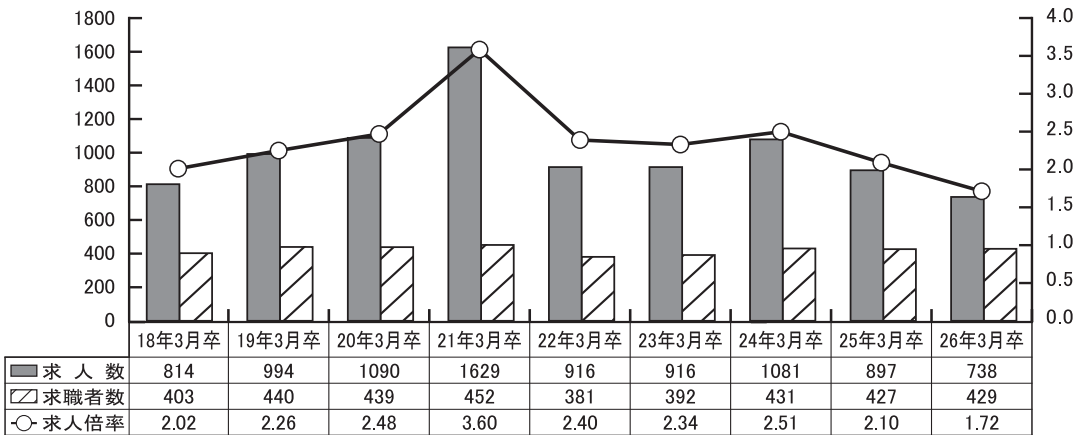
群馬県では、高校生の就職の選考は一人一社制で、九月中旬から始まる。今年度は特に、この時期に応募した者が中心であった。十月の中旬以降は一人三社までの推薦・応募が可能となるが、現実的

には難しくなる時期だ。もちろん、どんな状況でも、生徒本人の希望がしっかりしていないといけない。と同時に、受験準備を充分にする必要がある。本校では、模擬面接等を私が担当している。そこでアドバイスを是非生かしてほしい。

最後に、一つだけ付け加えておきたい。企業に採用されるためには、改めて、言葉づかいや身だしなみを注意してほしい。企業が求める「コミュニケーション能力」は、決して難しいものではない。本校の校訓「親愛・礼節・整美」の心を發揮してくればよいのである。

(職業指導主事 愛敬浩一)

求人数・求職者数・求人倍率の推移 (高崎市内分)



生活指導部より

「拡散するスマホ
トラブルへの警鐘」

スマートフォンが登場したと思っ
たら瞬く間に高校生の間にも広が
りました。その事でソーシャルネッ
トを介した、生徒指導も新たな局
面を迎えています。

ツイッターなどのパスワードで
すが、絶対に安全という事はあり
ません。その道のプロが悪意的に
侵入し、中身を見たり、盗み取っ
たりし、画像・動画・データ等を
世間にさらすといった事件も起き
ています。また、LINEによる
トラブルも増加の一途です。自分
の発した一言が誰かを傷ついたり、
大きな波紋となって広がったり、
必要以上に世の中に注目されたり
することもあります。場合によっ
ては家族や友人、所属している部
活動や学校にまで迷惑が及ぶ事も
少なくないのです。

一度拡散してしまった画像や言
葉は、個人の力で収束できるもの
ではありませんし、その責任はと
ても大きく本人にのしかかってき

平成26年度 父母の会行事予定

月	日	曜日	事業内容(会場等)
4	8	火	入学式(群馬音楽センター)
5	9	金	本部役員会
	17	土	平成26年度総会・本部役員引継ぎ会(暢神荘)
	27	火	県私立中学高等学校保護者会連合会総会(ラシーネ)
	28	水	高崎地区PTA会長及び管理職歓迎会(エテルナ高崎)
6	6・7	金・土	県高P連合会(一泊:伊香保 ホテル「天坊」)
	22	日	3年学年学級懇談会・反省会
	29	日	1年学年学級懇談会・反省会
7	4・5	金・土	第60回関東地区高等学校PTA連合会大会群馬大会
	6	日	2年学年学級懇談会・反省会
8	22	金	後援会合同夏季懇親会(ヴィラデマリアーヂュ)
10	17	金	西毛地区高P連指導者研究集会(ニューサンピア)
	18・19	土・日	商大附高祭
	23	木	県私中高保護者会連合会理事会・学校見学会(本校)
11	7	金	県高P連指導者研究集会(前橋テルサ)
	23	祝	後援会・同窓会合同研修旅行(箱根)
12	2	火	私学振興全国大会(日比谷公会堂)衆議院選挙により中止
1	16	金	後援会・同窓会役員合同新年会(ヴィラデマリアーヂュ)
	26	月	平成26年度群馬県私学振興大会(ラシーネ)
2	9	金	3年学年学級役員反省会(未定)
	20	金	県私中高保護者会連合会理事会・学校見学会(樹徳高校)
3	3	火	第66回卒業式(群馬音楽センター)

ます。便利なツールも使い方が問
題です。どうかご家庭におかれま
しても、そうした問題について、

一度親子で考えてみてはいただけ
ないでしょうか。何よりもお子様
の安全の為にお願い致します。
フィルタリングはもちろんです
が、利用する時間帯、頻度、アプ
リ等、もう一度親子でチェックを

お願い致します。利用代金を負担
している保護者の側からの指導も
重要な時代となっています。ご協
力をお願い致します。
(生徒指導主事 田沼稔夫)

平成25年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

平成25年度決算につきましては、平成26年5月29日開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き過去12年間「Aランクの状態」（正常状態）に位置しており、財政基盤はきわめて安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

平成25年度の資金収支状況について、収入は合計で5,035,381千円となり、その他の収入で増加したものの、学生生徒等納付金収入、手数料収入、寄付金収

入、補助金収入、資産運用収入及び事業収入等が減少したことで、予算に対しては93,325千円の減収となりました。

一方、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等で減少しましたが、次年度繰越支払資金は予算に対し47千円減少の2,320,555千円となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,521,321,680	1,520,933,330	388,350
手数料収入	52,405,000	50,964,410	1,440,590
寄付金収入	13,855,000	13,606,760	248,240
補助金収入	607,091,447	605,516,794	1,574,653
資産運用収入	20,741,270	19,799,199	942,071
資産売却収入	300,942,000	300,942,000	0
事業収入	12,580,000	12,404,037	175,963
雑収入	82,083,750	82,031,459	52,291
借入金等収入	100,000,000	100,000,000	0
前受金収入	243,500,000	235,238,500	8,261,500
その他の収入	99,254,706	106,527,978	△ 7,273,272
資金収入調整勘定	△ 255,898,500	△ 343,413,213	87,514,713
前年度繰越支払資金	2,330,830,065	2,330,830,065	
収入の部 合計	5,128,706,418	5,035,381,319	93,325,099
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,266,006,280	1,264,622,074	1,384,206
教育研究経費支出	538,070,893	526,318,446	11,752,447
管理経費支出	158,928,556	152,143,278	6,785,278
借入金等利息支出	4,012,765	4,012,765	0
借入金等返済支出	27,770,000	27,770,000	0
施設関係支出	360,340,000	349,891,333	10,448,667
設備関係支出	61,589,098	57,341,467	4,247,631
資産運用支出	355,586,631	355,151,631	435,000
その他の支出	28,841,747	28,221,731	620,016
〔予備費〕	24,923,247		24,923,247
資金支出調整勘定	△ 17,964,617	△ 50,646,582	32,681,965
次年度繰越支払資金	2,320,601,818	2,320,555,176	46,642
支出の部 合計	5,128,706,418	5,035,381,319	93,325,099

②消費収支計算書の状況

消費収支計算書は、その年度の授業料や寄付金等、負債とならない収入（帰属収入）から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と減価償却額や資産処分差額等を含む、その年度に消費する支出（消費支出）との均衡状態と経営状況を把握するための書類です。

（企業会計の損益計算書に類似していますが、基本金組入額を控除する点が大きく異なります。）

平成25年度の帰属収入合計は、予算に対して2,092千円減の2,310,122千円となりました。また、基本金組入額は、4,000千円となり、この結果、帰属収入が

ら基本金組入額を差し引いた消費収入は、予算比2,092千円減の2,306,122千円となりました。

これに対して消費支出は、予算に対して40,341千円減の2,223,977千円となりました。

これらの結果、平成25年度の消費収支差額（＝消費収入－消費支出）は、82,145千円の収入超過となり、前年度繰越消費収入超過額の408,202千円と基本金取崩額504,366千円を加え、翌年度繰越消費収入超過額は、994,713千円となりました。

消費収支計算書

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,521,321,680	1,520,933,330	388,350
手数料	52,405,000	50,964,410	1,440,590
寄付金	14,405,000	15,945,023	△ 1,540,023
補助金	607,091,447	605,516,794	1,574,653
資産運用収入	20,741,270	19,799,199	942,071
資産売却差額	787,000	1,729,000	△ 942,000
事業収入	12,580,000	12,404,037	175,963
雑収入	82,882,745	82,830,454	52,291
帰属収入合計	2,312,214,142	2,310,122,247	2,091,895
基本金組入額合計	△ 4,000,000	△ 4,000,000	0
消費収入の部合計	2,308,214,142	2,306,122,247	2,091,895
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,272,825,648	1,271,441,442	1,384,206
教育研究経費	704,947,095	693,232,467	11,714,628
管理経費	168,400,688	161,794,549	6,606,139
借入金等利息	4,012,765	4,012,765	0
資産処分差額	88,021,471	88,021,469	2
徴収不能額 〔予備費〕	5,474,300 20,636,113	5,474,300	0 20,636,113
消費支出の部合計	2,264,318,080	2,223,976,992	40,341,088
当年度消費収入超過額	43,896,062	82,145,255	
前年度繰越消費収入超過額	408,201,966	408,201,966	
基本金 取崩額	468,833,538	504,365,752	
翌年度繰越消費収入超過額	902,931,566	994,712,973	

③貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び消費収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

平成25年度末の総資産は、前年度末に比較して183,128千円の増加となり、本年度末10,211,892千円となりました。

資産の部は、「有形固定資産」が149,778千円の増加、「その他の固定資産」が1,197千円増加し、「固定資産」全体では本年度末7,769,960千円となり、対前年度150,975千円の増加となりました。また、「流動資産」は、本年度末2,441,932千円となり、前年度に比べ32,153千円増加しました。

負債の部は、「固定負債」が724,301千円で、前年

度に比べ83,670千円の増加、「流動負債」は、356,066千円で前年度に比べ13,313千円増加しました。

この結果、総負債は、前年度末に比較して96,983千円の増加となり、本年度末1,080,368千円となりました。基本金の部は、合計で8,136,811千円となり、前年度に比べ500,366千円減少しました。

これらの結果、消費収支差額は586,511千円の収入超過となり、前年度繰越消費収入超過額408,202千円と合わせて、翌年度繰越消費収入超過額は994,713千円となりました。

なお、総資産から総負債を差し引いた正味資産は9,131,524千円となり、前年度に比べ86,145千円増加しました。

貸借対照表

(単位：円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,769,960,376	7,618,985,234	150,975,142
有形固定資産	6,307,379,453	6,157,601,497	149,777,956
土地	2,498,530,297	2,470,403,047	28,127,250
建物	2,902,319,654	2,644,990,037	257,329,617
建物附属設備	126,655,493	131,278,619	△ 4,623,126
構築物	176,208,358	189,347,129	△ 13,138,771
教育研究用機器備品	98,423,232	96,622,606	1,800,626
その他の機器備品	5,073,582	5,520,820	△ 447,238
図書	339,606,865	334,340,756	5,266,109
車輛	13,751,972	11,231,483	2,520,489
建設仮勘定	146,810,000	273,867,000	△ 127,057,000
その他の固定資産	1,462,580,923	1,461,383,737	1,197,186
有価証券	1,197,869,000	1,197,487,000	382,000
退職金引当資産	147,000,000	147,000,000	0
第3号基本金引当資産	50,936,631	49,936,631	1,000,000
特定支出引当特定資産	29,690,000	25,070,000	4,620,000
その他	37,085,292	41,890,106	△ 4,804,814
流動資産	2,441,931,706	2,409,778,669	32,153,037
現金・預金	2,320,555,176	2,330,830,065	△ 10,274,889
その他	121,376,530	78,948,604	42,427,926
資産の部合計	10,211,892,082	10,028,763,903	183,128,179
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	724,301,238	640,631,290	83,669,948
長期借入金	594,390,000	522,160,000	72,230,000
退職給与引当金	124,117,758	118,097,385	6,020,373
長期未払金	5,793,480	373,905	5,419,575
流動負債	356,066,450	342,753,474	13,312,976
短期借入金	27,770,000	27,770,000	0
前受金	235,238,500	255,198,500	△ 19,960,000
その他	93,057,950	59,784,974	33,272,976
負債の部合計	1,080,367,688	983,384,764	96,982,924
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	7,939,874,790	8,444,240,542	△ 504,365,752
第3号基本金	50,936,631	49,936,631	1,000,000
第4号基本金	146,000,000	143,000,000	3,000,000
基本金の部合計	8,136,811,421	8,637,177,173	△ 500,365,752
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費収入超過額	994,712,973	408,201,966	586,511,007
消費収支差額の部合計	994,712,973	408,201,966	586,511,007
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
	10,211,892,082	10,028,763,903	183,128,179

編集後記

新校舎が完成し、放送室から全ての教室のモニターに映像と音声配信できるようになりました。終業式の様子や表彰式、壮行会の様子が実況中継できるので、運動部、文化部の活動で表彰された生徒や全国大会の結果報告をする生徒を見た友達に、「よく映っていたよ」とささやいています。

中教審では、生徒一人ひとりが自信をもって幸福な人生を送れるようにする新しい教育の在り方の検討が始まっています。知識の暗記を基本とする受け身の教育から、必要な情報を自力で入手し、課題を考察し、判断し、考え抜いた結果を表現する力を身につける能動的な学習へと舵を切ろうとしています。特に情報関連機器の活用を重視するICT教育は、改革の柱のひとつであります。

本校の物理の授業では教室のモニターと教育ソフトを使って、波が固定端で反射し定常波をつくる動画を使い分かりやすく指導しています。英語教育でも教科書の本文を画面に提示し、補足説明を画面に書き込む授業が展開されています。本校でも情報関連機器を十分に活用し、教育の質を向上させる検討が続いています。

保護者の皆様には、これからも本校の教育へのご理解とご協力を頂きたいと思っております。最後に、「商大附高だより75号」に寄稿頂きましたご父母の皆様及び先生方には感謝申し上げます。

(牧口)

2学期以降県外大会出場(予定)部活動・結果報告



クラブ名	大会名	期日	成績
空手道部	国民体育大会(長崎)	10/13~15	女子個人形 出場 F2-7 清水那月
	平成26年度関東高等学校空手道選抜大会(前橋)	1/24・25	男子団体組手 出場 F2-8 武居舜也、F2-9 中澤祐貴、川崎紘史、F1-7 關塚和哉、F1-9 中野覚志 男子個人組手 北ブロック3位 F1-9 中野覚志 女子団体組手 北ブロック3位 F2-6 井草わかば、F2-7 川村真以、清水那月、鈴木沙奈、F2-10 山口歩夢、S2-2 馬場美咲、F1-10 土屋玲奈、戸谷泉水 女子団体形 優勝 F2-6 小峯桃子、F2-7 川村真以、清水那月、平井日菜、F2-10 阿久津寧々、F1-7 田中まゆ 女子個人組手 北ブロック1位 F2-7 川村真以、出場 F1-10 土屋玲奈 女子個人形 準優勝 F2-7 清水那月、北ブロック1位 F2-6 小峯桃子
アーチェリー部	国民体育大会(長崎)	10/13~15	少年男子 11位 F3-7 堀口祐太、S3-2 山本新
	平成26年度関東高等学校アーチェリー選抜大会(神奈川)	11/8・9	女子個人 9位 F2-10 佐相花奈、17位 F2-8 坂本正恵 男子個人 9位 F3-7 堀口祐太、17位 F2-7 森田伊心、33位 S3-2 山本新、F2-8 江田瑛、49位 F2-4 長岡祥平、F2-5 諸星涼太、F2-3 深澤海人
	平成26年度全国高等学校アーチェリー選抜大会(静岡) 出場予定	3/26~28	男子個人 出場 F2-7 森田伊心、F2-8 江田瑛
フェンシング部	国民体育大会(長崎)	10/13~15	少年女子 4位 F3-11 新井はるか、F2-11 登坂梨乃、F1-6 遠藤里菜
	欧州カデ・サーキット・オーストリア大会(オーストリア)	11/7~11	63位 F1-6 遠藤里菜
	全日本フェンシング選手権・団体戦(和歌山)	11/27~30	女子団体フルール 出場 F2-11 登坂梨乃、S2-1 大木彩、F1-6 遠藤里菜、F1-8 長壁伶奈
	全日本フェンシング選手権・個人戦(東京)	12/19・20	女子個人サーブル 出場 F3-11 新井はるか、S2-1 大木彩
	JOCジュニアオリンピックカップ(東京)	1/8~11	ジュニア男子エペ 7位 F3-8 久保田棕也 カデ女子フルール 5位 F1-6 遠藤里菜
	関東高校選抜フェンシング大会(高崎)	1/24・25	女子学校対抗 優勝 F2-11 登坂梨乃、S2-1 大木彩、F1-6 遠藤里菜、F1-8 長壁伶奈
	ルーマニア国際大会(ルーマニア)	2/4~10	出場 F1-6 遠藤里菜
	アジア・ジュニア・カデ選手権(アラブ首長国連邦)	2/26~3/10	出場 F1-6 遠藤里菜
	全国高校選抜フェンシング大会女子学校対抗(奈良)	3/20~22	出場 F2-11 登坂梨乃、S2-1 大木彩、F1-6 遠藤里菜、F1-8 長壁伶奈
ペップアート部	Japan Cup 2014	9/2	カラーガード部門 3位 参加者 S3-2 殿村優花、F3-10 中村綾那、小島有加、S3-1 内藤佳奈、中嶋未来、中田彩水、S3-2 富所冴英、三浦彩子、F2-4 栗原理沙、F2-5 佐伯風花、F2-7 新井まいか、小金澤美莉、F2-8 戸塚千景、F2-9 鶴田ブルーナアキ、S2-1 高橋絵美、S2-2 坂部稜華、佐藤麻由、神保菜耶、S2-3 清水七夏美、F1-3 須藤亜実、F1-11 新垣めぐみ、笠原亜美、松口悠
	関東スーパーマーチング	12/18	年間優秀団体 参加者 上記同様
	第42回マーチングバンド全国大会	2/15	カラーガード部門 出場 → 2/15以降結果待ち
バトントワリング部	第49回バトントワリング関東大会	11/3	高等学校の部 バトン編成 銀賞 F2-2 石川紗椰、F2-4 湯浅菜美、F2-5 岩崎公香、金子真弓、F2-6 秋山風香、春山杏菜、F2-7 浦野紗英、岡田綾子、F2-9 倉林莉奈、F2-10 内田菜、芹澤彩乃、高橋美帆、S2-1 佐藤殊乃、堀菜月、S2-3 井俣菜、山口優香、F1-2 阿久澤袖衣、F1-3 橋本彩奈、F1-4 小林菜桜、F1-8 佐々木舞衣、F1-9 宮川菜奈子、F1-10 大村碧唯、S1-1 中島雪菜
放送部	第39回全国総合文化祭放送コンクール滋賀大会(びわこ総文)	平成27年7/29~8/1	ビデオメッセージ部門 「絵画を孫と共に」 F2-10 川田春花、長竹彩 オーディオビジュアル部門 「蚕は群馬の宝物」 F1-11 會澤就実、堀愛華、楠理沙
囲碁部	第30回関東地区高等学校囲碁選手権大会(埼玉)	平成27年1/24~25	女子団体戦 女子個人戦 出場 F2-6 長谷川由美、F2-7 橋島知美、F2-10 後藤愛里、F1-3 嶋田あかり